

道軟連合報

2024年度 後期号
2024.12.25
第86号
発行所
北海道軟式野球連盟
札幌市豊平区豊平5条11丁目1番1号
発行者 鎌田英暢
編集者 総務部
印刷所 岩橋印刷株式会社

二〇二四年度 支部理事長連絡会議が終了

～来年の北海道大会の

開催日程などを了承される～



令和六年十一月十七日(日)に道立総合体育センター(札幌市)において、「支部理事長連絡会議」が開催されました。

冒頭、今年八月に京都市ほかで開催された、第九回全日本中学生女子軟式野球大会(SPTーナメント)で準優勝した、「札幌ブルーシエジュニア」チームの表彰式が行われ、長野副会長から小川監督・田中主将に表彰楯等が手渡され、出席者から盛大な拍手が送られました。(P3参照)

引き続き会議に入り、報告事項・協議事項に対して慎重に審議をしていただき、全案件が了承されました。

○報告事項

- ・北海道大会の総括について
- ・二〇二四年度一般会計の決算見込みについて
- ・(公財)全日本軟式野球連盟
- ・二〇二四年度功労者表彰候補者の推薦について

- ・(一社)北海道軟式野球連盟表彰規定に関わる二〇二四年度功績賞等の推薦について
- ・各部署実務状況(中間報告)について
- ・高松宮賜杯(二部)全国大会の終了について(P4参照)
- ・規定類の改正について
- ・二〇二四年度全軟連登録会員(チーム・個人)について

○その他

- ・二〇二五年度北海道大会日程について
- ・全軟連主催のアナウンス・記録講習会の開催について
- ・準優勝楯(杯)の持ち回り廃止と優勝ケース等の修理について
- ・少年・学童チームの宿泊先確保について
- ・各種会議日程について

◆お知らせ◆

☆「2025年度定時社員総会(評議員会)」の開催予定

日時：令和7年3月8日(土)午後2時(予定)

場所：「ホテルノースシティ」2階「金柔」

札幌市中央区南9条西1丁目

地下鉄南北線「中島公園」駅下車(1番出口徒歩5分)

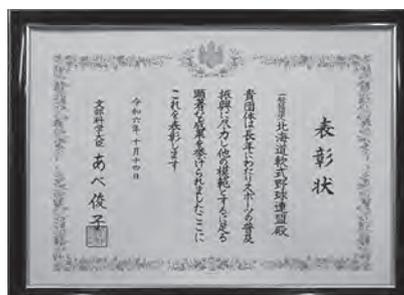
令和六年度「生涯スポーツ優良団体」受賞 北海道の推薦により文部科学大臣から表彰される



「生涯スポーツ優良団体」の総代 一般社団法人北海道軟式野球連盟へ室伏長官より表彰状授与

一〇月十八日、令和六年度生涯スポーツ功労者表彰及び生涯スポーツ優良団体表彰式が執り行われ、「生涯スポーツ功労者」一五九名、「生涯スポーツ優良団体」一〇五団体に文部科学大臣からの表彰状が授与されました。式では、本間会長代理として鎌田理事長が出席し、「生涯スポーツ優良団体」の総代として一般社団法人北海道軟式野球連盟に室伏スポーツ庁長官から表彰状が手渡されました。

この表彰は、地域又は職種における



るスポーツの健全な普及及び発展に貢献し、地域におけるスポーツの振興に顕著な成果を上げたスポーツ関係者及びスポーツ団体に対し、文部科学大臣が表彰を行うものです。

新しい支部役員紹介

留萌支部 事務局長・評議員



高橋 勝氏
(昭和46年
4月27日生)

平成二十四年留萌支部 副理事長
平成三十年留萌支部 審判部長
令和六年留萌支部
事務局長・評議員

留萌支部 審判部長



石見 正巳氏
(昭和38年
8月17日生)

平成三十年北海道軟式野球連盟
審判技術員
令和六年留萌支部 審判部長

留萌支部 審判部副部長



若林 利行氏
(昭和47年
12月15日生)

令和六年留萌支部 審判部副部長

留萌支部 審判部副部長



田所 魁氏
(平成4年
10月10日生)

令和六年留萌支部 審判部副部長

留萌支部 審判技術員



神永 正輝氏
(昭和48年
1月4日生)

平成二十四年留萌支部 事務局次長
令和六年北海道軟式野球連盟 審判技術員

留萌支部 少年部担当



高橋 典夫 氏
(昭和42年 5月20日生)

令和六年 留萌支部 少年部担当

北見支部 支部長



渡部 眞一 氏
(昭和28年 9月20日生)

平成二十二年 北海道軟式野球連盟 監事
平成二十四年 北海道軟式野球連盟 理事
平成二十八年 北海道軟式野球連盟 参与
令和六年 北見支部 支部長

北見支部 審判部長



元谷 隆人 氏
(昭和35年 6月29日生)

令和六年 北見支部 審判部長

中学女子軟式野球 全国大会 準優勝

二〇二四年九月十一日付 記事

北海道新聞

札幌ブルーシェ 全国準V

中学女子軟式野球 道内で最高成績

北海道新聞の記事抜粋。札幌ブルーシェが全国大会で準優勝を挙げたこと、チームの活躍ぶり、選手たちのコメントなどが掲載されている。

主体性に力「強豪相手にやりきれた」

全国大会で準優勝を挙げた札幌ブルーシェの選手たち。試合後のインタビューで、選手たちは「強豪相手にやりきれた」と語り、チームの主体性に力を入れたことが勝利の鍵だったと振り返っている。

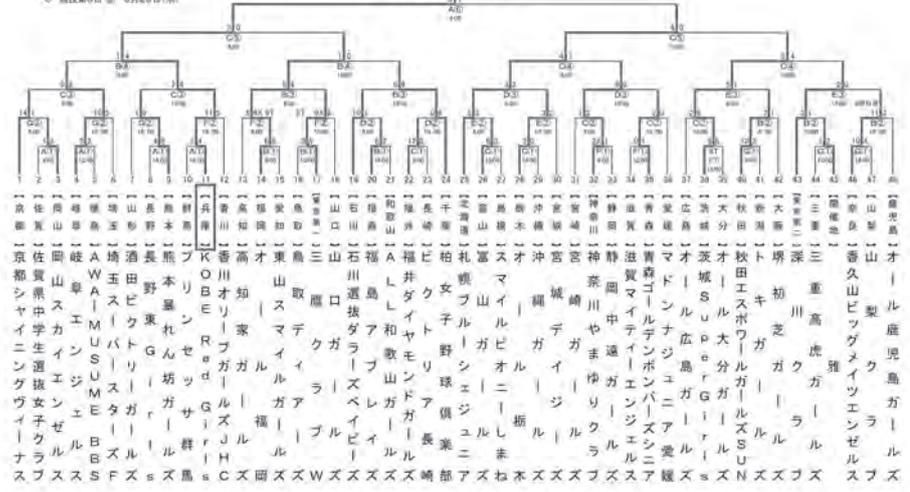


第9回 全日本中学女子軟式野球大会 (SPOTナメント)

令和6年8月23日(土)～8月28日(水) 6日程

- ◇ 開会式 8月22日(木) わかもスタジアム(札幌市体育館 併用)
- ◇ 競技第1日 8月23日(金)
- ◇ 競技第2日 8月24日(土)
- ◇ 競技第3日 8月25日(日)
- ◇ 競技第4日 8月26日(月)
- ◇ 競技第5日 8月27日(火)
- ◇ 競技第6日 8月28日(水)

兵庫県代表 KOBE Red Girls



十勝で全国大会開催される 第六十八回高松宮賜杯全日本軟式野球大会（二部）

九月七日から九日までの三日間、十勝支部として初めての開催となる全国大会、第六十八回高松宮賜杯全日本軟式野球大会（二部）が、帯広市、音更町、芽室町、幕別町の一市三町の会場で開催されました。

大会には全国から三十二チームが参加し、連日十勝晴れに恵まれた大会となり、今シーズンから競技者必携に記載された「野球にヤジは必要ありません」の通りに、全チームが清々しく、スポーツマンシップに則った試合が展開されました。

決勝戦は佐賀代表「井出解体実業」対岐阜代表「SANKO」で行われ、四対二で「井出解体実業」が優勝しました。

大会開催にあたり、全道二十五支部のご支援、道連役員の皆様、派遣審判員、交流審判員の方々のご協力をいただき感謝を申し上げますとともに、無事大会を終了出来ましたことにお礼申し上げます。

（十勝支部 理事長 小川 敏也）



高松宮優勝 井出解体実業



2024

北海道大会熱戦譜

天皇賜杯第七十九回全日本軟式野球 ENEOSトーナメント南・北海道大会 優勝 JB日本血液製剤機構（千歳支部）

本大会は、六月二十九日から七月一日までの三日間、「北海道の空の玄関」千歳市民球場並びに青葉球場を会場に、熱戦が繰り広げられました。

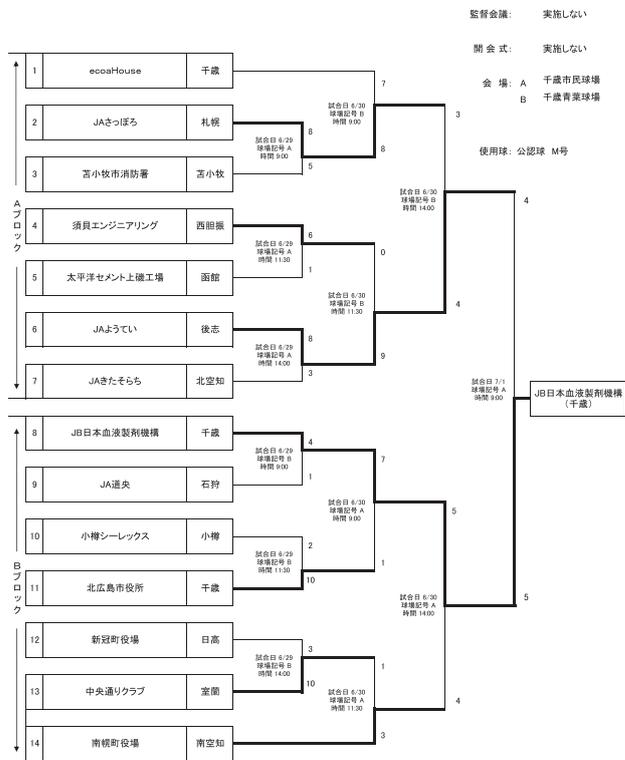
大会二日目の青葉球場での第一試合「ecoaHouse」（千歳支部）対「JAさっぽろ」（札幌支部）は九回を終わって四対四、その後延長戦でも決着がつかず、十二回からタイブレークに入り先攻・後攻チーム共に譲らないまま十七回裏「JAさっぽろ」が満塁からヒットで貴重な決勝点をあげ試合時間四時間二分という熱戦に終止符を打ちました。

大会三日目の決勝戦は、前日JA同士の準決勝を一点差で勝ち抜いた「JAようてい」（後志支部）と「JB日本血液製剤機構」（千歳支部）の対決です。試合は「JAようてい」の先制で始まりましたが逆転に次ぐ逆転で最終は八回に決勝点をあげた「JB日本血液製剤機構」

大会出場は、五月十四日から七月一日までの三日間、「北海道の空の玄関」千歳市民球場並びに青葉球場を会場に、熱戦が繰り広げられました。

大会出場の十四チームのうち、C級の「中央通りクラブ」（室蘭支部）は、登録選手のひとつが二〇歳台

天皇賜杯第79回全日本軟式野球大会ENEOSTーナメント 南・北海道大会



支部名	チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
千歳	JB日本血液製剤機構	0	4	0	0	0	0	0	0	1	5
後志	JAようてい	2	0	0	0	0	1	1	0	0	4

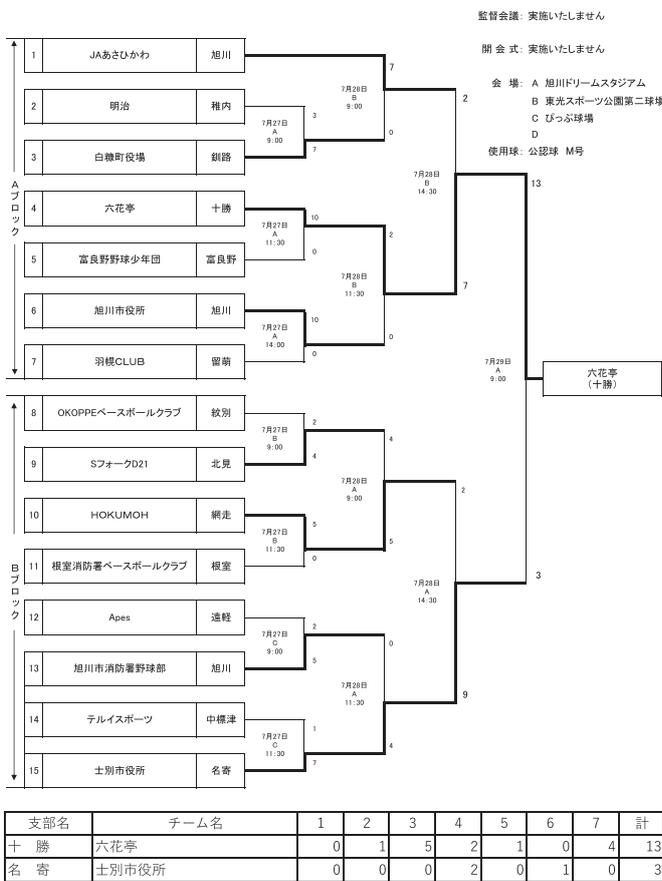
と若く、一回戦を勝利するなど今後の活躍を期待させる印象的なチームでありました。

また、本大会には、十一名の派遣・交流審判員のご支援を頂き無事に大会を終えることができ改めて感謝申し上げます。

（千歳支部 清水）



天皇賜杯第79回全日本軟式野球大会 北・北海道大会



本大会は七月二七日から三日間、旭川市二会場、比布町一会場の三会場で行われました。各支部から勝ち上がった十三チームの他に旭川開催地枠の二チームを加えた計十五チームで全国大会出場を目指し、熱戦が繰り返されました。大会二日目は朝

らの雨模様で試合開始時間を三十分遅らせてグラウンドの水抜きや整備を行いました。この日予定していた二会場六試合を七回戦に短縮し無事終わらせる事が出来ました。最終日の決勝戦では去年に引き続き「六花亭」(十勝代表)と「士別市役所」(名寄

天皇賜杯第七十九回全日本軟式野球大会 ENEOS トーナメント北・北海道大会 優勝 六花亭 (十勝支部)

代表) が九回戦で対戦しました。前年度覇者の「六花亭」が序盤から大量得点をし、中盤で意地を見せた「士別市役所」の猛攻も及ばず「六花亭」が十三対三(七回コールド)の大差で昨年に引き続き優勝を飾りました。道連役員・派遣審判員をはじめ、稚内・名寄・留萌・富良野の各支部の交流審判員、また地元審判員と運営に携われました地元チームの協力のもと、大会を無事終了することが出来ました。ご協力をいただきました事に心から感謝とお礼を申し上げます。



(旭川支部 大岩)

高松宮賜杯第六十八回全日本軟式野球大会 (一部)南・北海道大会 優勝 新ひだか町役場野球部 (日高支部)

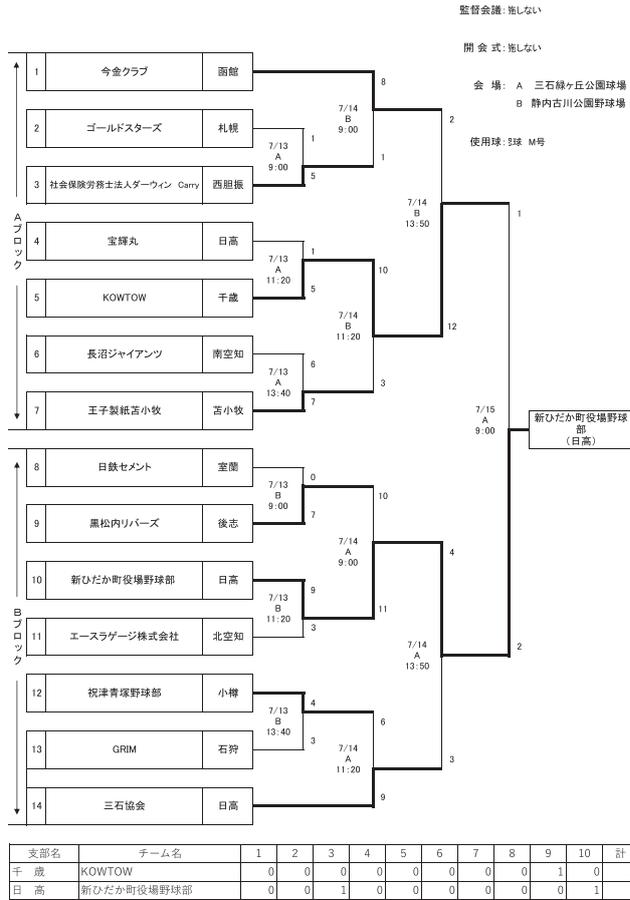
本大会は平成二十四年以来、十二年ぶりの開催で、各支部代表・開催地推薦の十四チームにより行われ、日高支部推薦出場の「新ひだか町役場野球部」チームが日高支部として二十四年振り(南北分離開催後初)の優勝を遂げ、地元開催でもあり大いに盛り上がった大会で終了するこ

とができました。
特に準決勝は、日高支部代表の「三石協会」との日高勢対決となり、多勢の熱い応援の中で的好試合となり、「新ひだか町役場野球部」が前半・中盤と小刻みに得点を重ねリードしたまま終盤を迎え、このまま押し切るかとおもわれましたが、「三石協

会」が猛烈に追い上げ一点を争う好ゲームとなりましたが、四対三で「新ひだか町役場野球部」チームが初の決勝へ進出しました。
決勝は前年度準優勝「KOWTOW」(千歳支部)との対戦となり、好投手の鎌田投手(日高支部)と柳田投手(千歳支部)の投げ合いとなり、同点のまま延長戦に突入、十回裏に「新ひだか町役場野球部」が犠飛により決勝点を上げ二対一のサヨナラゲームで決着しました。
本大会も、全国的な猛暑に見われた影響で、比較的冷夏の日高地方でも暑いと感じる気候の中、試合展開の状況により試合時間が長くなる傾向にあると感じています。

最後に、本大会派遣の道連役員・審判員・大会運営に携わった連盟の関係者の皆様に心より感謝をお礼申し上げます。
(日高支部 中村)

高松宮賜杯 第68回全日本軟式野球大会(1部) 南・北海道大会



高松宮賜杯第六十八回全日本軟式野球大会

優勝 (一部)北・北海道大会 タケシマスポーツ (十勝支部)

稚内支部との分離開催となった本大会は、七月六～八日に留萌支部天塩町・遠別町で開催された。

各町の理事者のご配慮で、球場の土を入れ替えて頂き整備が万全な中、運営側もできる限りの準備を進め三日間の日程を迎えた。

初日・二日目は雨を避けきれず、選手・審判員ともびしょぬれになりながら七回戦に進めた。

二日間降り続いた雨がようやく止んだ決勝は、「アルファ斜里」(網走支部)と後攻「タケシマスポーツ」(十勝支部)の一戦でしたが、強打に勝

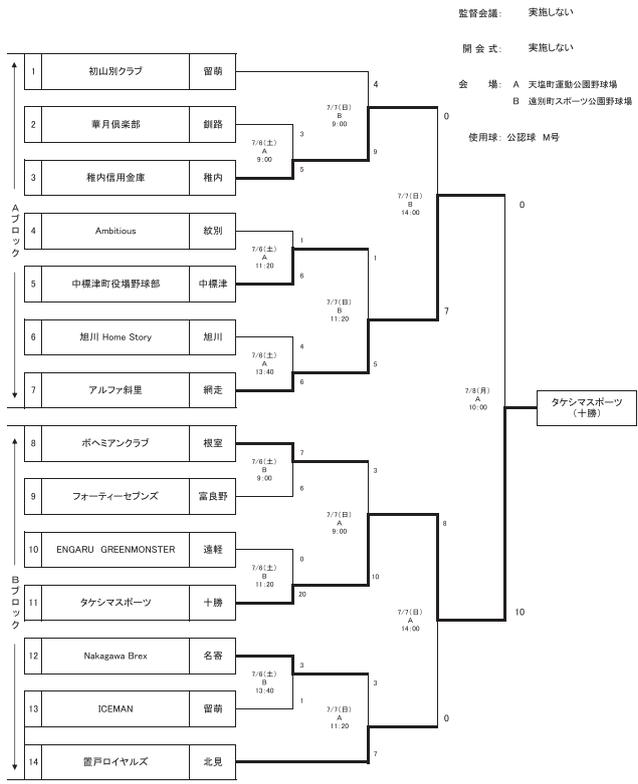
る「タケシマスポーツ」が十対〇の五回コールドで優勝しました。

なお、閉会式には、天塩町吉田忠町長が公務ご多用の中、ご臨席頂き感謝申し上げます。

二日間雨に降られた大会ではあったが、地元役員、そしてBPを務めてくれたスタッフのお陰で無事終えることができたことに感謝です。

(留萌支部 辨開)

高松宮賜杯 第68回全日本軟式野球大会(1部) 北・北海道大会



支部名	チーム名	1	2	3	4	5	計
網走	アルファ斜里	0	0	0	0	0	0
十勝	タケシマスポーツ	0	2	0	1	7X	10



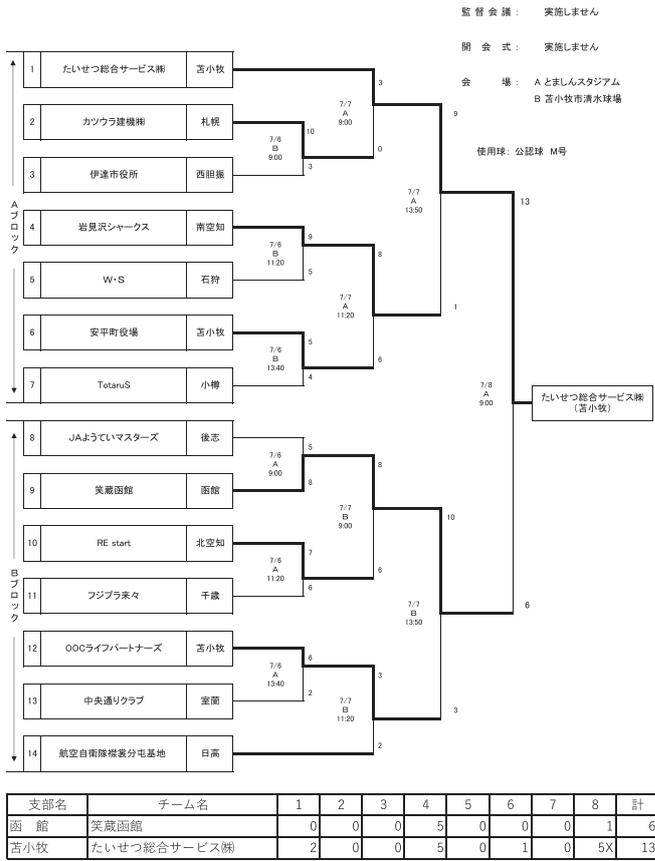
高松宮賜杯第六十八回全日本軟式野球大会 (二部)南・北海道大会 優勝たいせつ総合サービス(株)(苫小牧支部)

七月八日から三日間の日程で苫小牧市のとましんスタジアムを主会場として標記大会が開催された。

大会前の天気予報通り、初日からほぼ雨中での試合を余儀なくされ、二日目は七回戦で決着をつける事を

申し合わせた上での試合となった。それでもグラウンドコンディション的には何とか試合ができる状態を維持しつつ、多くの試合が接戦となる展開となり、その中で「笑蔵函館」(函館支部)と「たいせつ総合サービス

高松宮賜杯第68回全日本軟式野球(2部)南北海道大会



(株)(苫小牧支部)が決勝に駒を進めた。

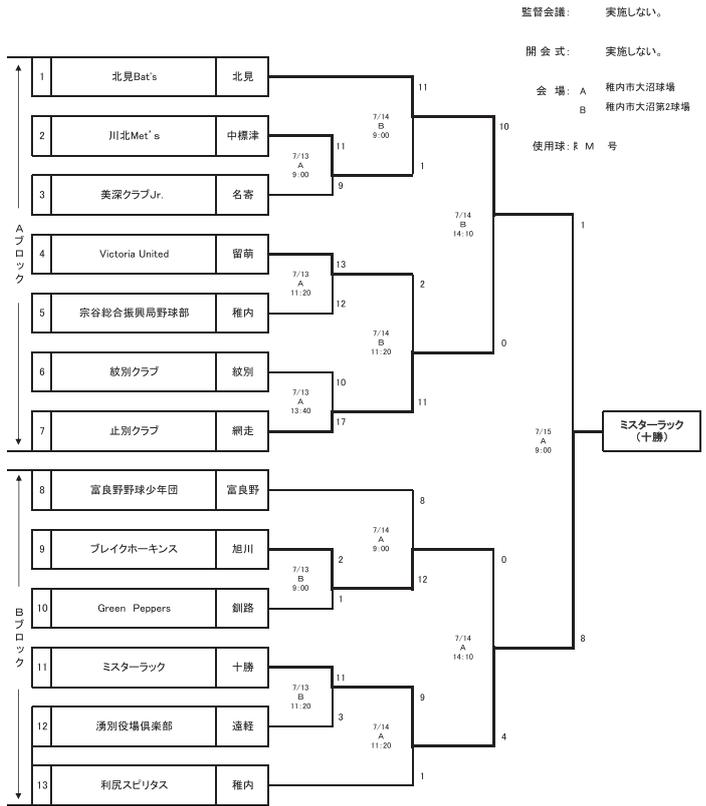
決勝戦のプレイボールがコールされるタイミングで大会期間中、初めて薄日が差し、青空も見え隠れする絶好のコンディションで試合開始となった。試合は初回から「たいせつ総合サービス(株)」が先制し中盤「笑蔵函館」が逆転するも、その裏の攻撃で「たいせつ総合サービス(株)」がひっくり返す展開で終盤までもつれたが、最終的には地元「たいせつ総合サービス(株)」が初優勝を飾り全国大会の切符を手にした。

大会を通じ、天気との戦いとなったが、球場係員をはじめ、大会関係者各位の懸命な努力のおかげで何とか無事大会を終えることができた。

(苫小牧支部 吉田)



高松宮賜杯 第68回全日本軟式野球大会(2部)北・北海道大会



支部名	チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	計
十勝	ミスターラック	3	0	0	2	0	0	2	1	8
北見	北見 Bat's	0	0	0	1	0	0	0	0	1

高松宮賜杯第六十八回全日本軟式野球大会 (二部)北・北海道大会 優勝 ミスターラック (十勝支部)

本大会は、七月十三日から七月十五日までの期間、最北の街・国境の街である稚内市大沼球場を主会場として、北・北海道各支部を勝ち抜いた十三チームの精鋭が熱戦を繰り広げました。

また、この大会は、当支部で二〇一九年に高松宮第六十三回全日本軟式野球大会(一・二部)北・北海道大会を開催以来、五年振りの開催されました。

催となります。

決勝は、「北見Bat's」(北見支部)と「ミスターラック」(十勝支部)の対戦となり、「ミスターラック」が制し、全国切符を手に入れました。

大会期間中は、天候にも恵まれ、道連、道北ブロックをはじめ大会関係者に多大なご支援とご協力をいただき、無事、全日程を終えることができ、厚く感謝申し上げます。

(稚内支部 薄田)



第七十八回国民スポーツ大会 SAGA二〇二四 国スポ軟式野球競技
 北海道ブロック予選会・令和六年度北海道体育大会

優勝 JA道央 (石狩支部)

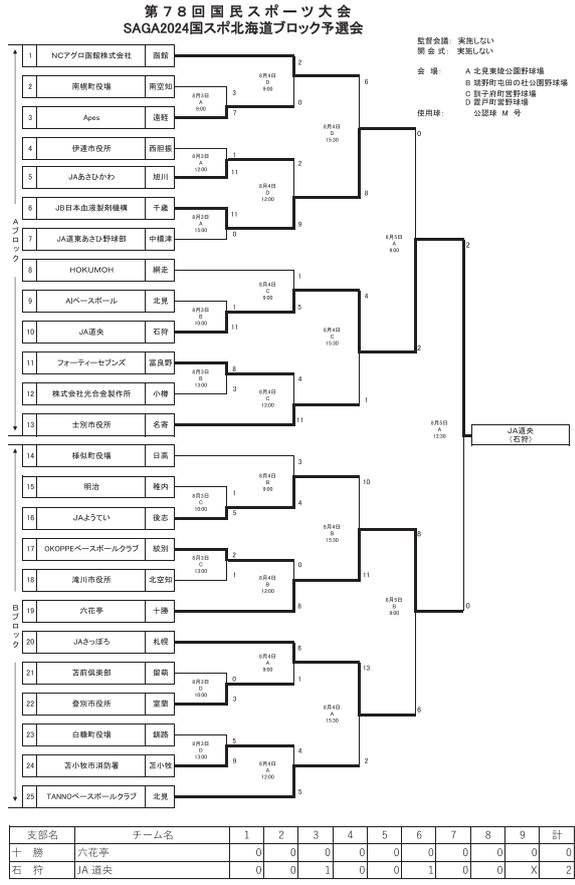
八月三日(土)から五日(月)の三日間の日程で、北見東陵公園野球場・端野町屯田の杜公園野球場・訓子府町営野球場・置戸町営野球場の四会場で、全国大会出場を目指して熱戦が繰り広げられました。

全道から二十五チームの代表が集い、パワフルな打撃で多くのホームランが飛び出し大差の試合もあり、また投手を中心にした守りで小差で

の試合ありと、流石に全道大会と違うレベルの高いプレーで観客を魅了させました。

優勝は、一回戦こそ大差で勝利しましたが、接戦で勝ち上がってきた「JA道央」(石狩支部)が、「六花亭」(十勝支部)に二対〇で勝利し代表権を獲得しました。

(北見支部 森谷)



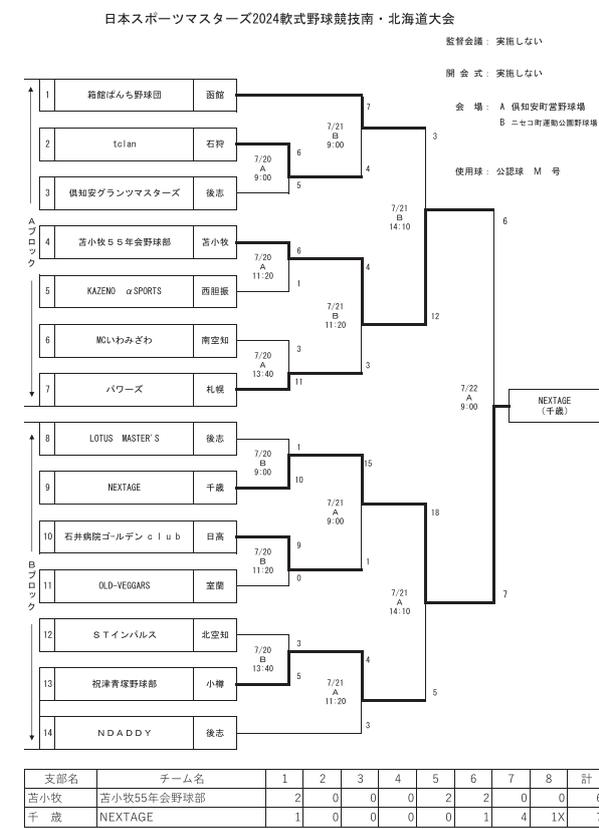
日本スポーツマスターズ2024軟式野球競技 南・北海道大会
 優勝 NEXTAGE (千歳支部)

本大会は後志支部の主管で開催されました。

倶知安町営野球場をメイン会場に、支部予選を勝ち抜いた全十二チームと開催地推薦の二チームの合計十四チーム、総勢二五六名の四〇歳を超えた野球好きな大人達が集結し南北北海道の頂点を目指し熱戦が繰り広げられました。

試合は昔を彷彿させる素晴らしいプレーや、動きがついていけない珍プレーなど、選手達は勝つことだけでなく野球ができる喜びを楽しんでいました。

決勝戦の組合せは、二連覇を狙う「NEXTAGE」(千歳支部)と「苦小牧55年会野球部」(苦小牧支部)との対戦となりました。

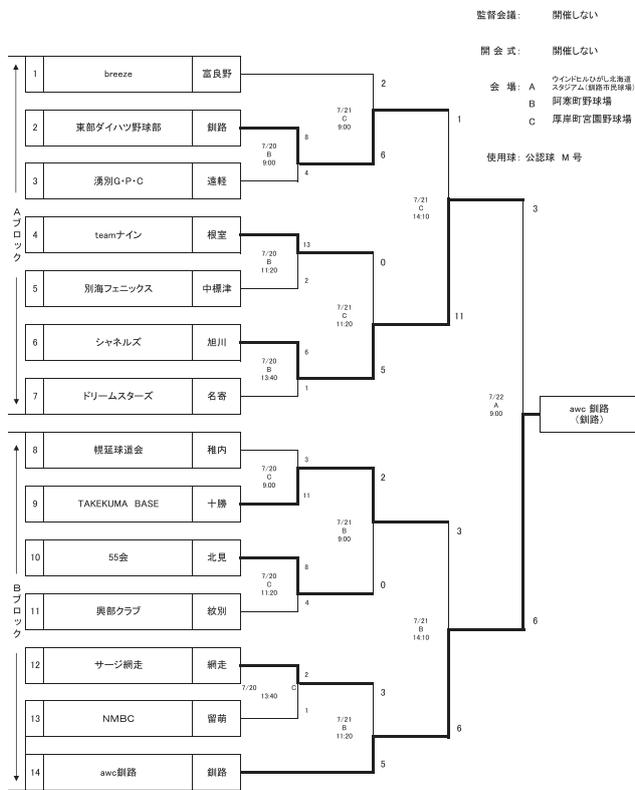


試合は「苦小牧55年会野球部」が先頭打者ホームランなどで得点を重ね、六回を終わり六対二で試合を優位に進めていました。後がない「NEXTAGE」は七回裏の最終回、先頭打者がヒットで出塁すると相手のミスなどで二点を入れるが二アウトとなりこれまでかと思われましたが、ここから底力を見せ相手のミスもあり同点になると、今大会初のタイブレークに突入しました。「苦小牧55年会野球部」は送りバントでランナーを進め一アウト二・三塁にするも得点は入らず。「NEXTAGE」はランナーのミスで一アウト二塁の状況からヒット、申告敬遠で満塁にし、内野ゴロの間に三塁ランナーがホームインしサヨナラゲームとなりました。二連覇達成、おめでとうございます。

(後志支部 福家)



日本スポーツマスターズ2024軟式野球競技 北・北海道大会



支部名	チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
釧路	awc 釧路	1	0	4	0	1	0	0	6
旭川	シャネルズ	0	0	3	0	0	0	0	3

本大会は七月二〇日(土)から七月二十二日(月)にかけてウインドヒルひがし北海道スタジアム(釧路市民球場)・阿寒町野球場・厚岸町宮園野球場の三球場で開催され、十三支部十四チームが全国大会を目指して熱戦を繰り広げました。本大会の参加資格は四〇歳以上の

選手ということで、過去の栄光と野球愛を胸に抱き戦う姿は、大会をより熱いものとし、多くの選手や家族、大会関係者を魅了しました。大会期間中は天候に恵まれ、良いコンディションの中でプレイできたこともあり、年齢を感じさせないパワーと熟練の技術を見せつけるかの

日本スポーツマスターズ2024
軟式野球競技 北・北海道大会
優勝 awc 釧路 (釧路支部)

様に、フェンス越えのホームランや長打が観客を圧倒していました。

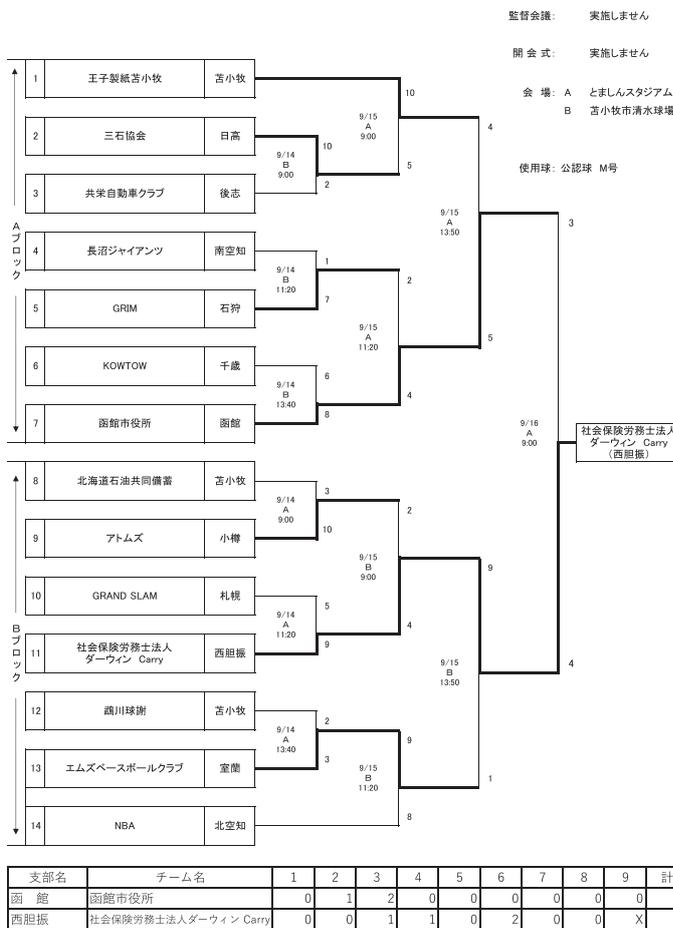
決勝戦は「シャネルズ」(旭川支部)と、「awc釧路」(釧路支部)が対戦し緊迫した展開の中、序盤からリードを守った「awc釧路」が見事に地元で優勝を掴み取りました。

最後になりましたが、派遣の道連役員・審判員そして大会運営に携わった多くの関係者の皆様に心からお礼申し上げます。

(釧路支部 佐藤)



第47回東日本軟式野球(1部)北海道大会



第四十七回東日本軟式野球大会 (一部)南・北海道大会 優勝 社会保険労務士法人ダーウィン Carry (西胆振支部)

苫小牧市とましんスタジアムを主会場に各支部大会を勝ち抜いた十四チームが参加し、九月十四日から十六日の間、標記大会が開催された。期間中、夜中に降った大雨でグラウンド整備に時間を要した場面もあったが大会前日までの残暑が嘘のよう

に秋空の中、順調に試合が進み接戦を勝ち抜いた「函館市役所」(函館支部)と「社会保険労務士法人ダーウィン Carry」(西胆振支部)が決勝に駒を進めた。決勝戦は雲一つない快晴のもとで行われ「函館市役所」が先行したが、中盤以降落ち

着いたエースの投球に打線も応え、相手のミスとヒットを絡め逆転した「社会保険労務士法人ダーウィン Carry」が栄冠を手にした。

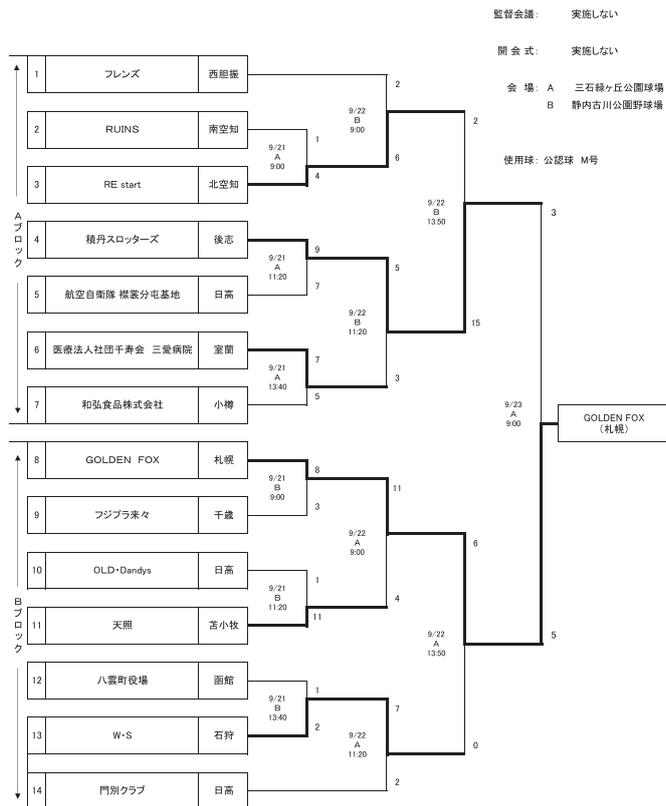
西胆振支部の一般大会の決勝進出は近年無く急遽、同支部関係者も応援に駆け付け、優勝の瞬間は若干、興奮気味？に一大事だと喜びを表現している姿が印象的であった。

この東日本一部大会は、道内では昭和五十四年に創設され途中、南北分離開催を経て現在に至り、その記念すべき第一回優勝が西胆振支部の「伊達オーシャン」で実に大会創設以来、四十六年振りの快挙であることが後に判明しました。(道連発行記念誌より、苫小牧支部調べ)

苫小牧支部では、本年二つの南大会を主管し、大会関係者各位の協力により無事大会を終えることができました。

(苫小牧支部 吉田)

第47回 東日本軟式野球大会（2部）南・北海道大会



支部名	チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
札幌	GOLDEN FOX	0	0	0	0	4	0	0	1	0	5
後志	積丹ロッタース	0	0	0	2	0	0	1	0	0	3

優勝
GOLDEN FOX (札幌支部)
第四十七回東日本軟式野球大会（二部）
南・北海道大会

本大会は、九月二十一日から二十三日までの三日間、新ひだか町「三石・静内」を会場に、各支部代表十二チーム、開催地推薦二チームの十四チームの参加により試合が行われました。本年七月の高松宮賜杯

（二部）大会に続く、二度目の南・北海道大会開催でした。九月にしては、幾分暑い中での試合運営でしたが、心配された雨もなく、天候に恵まれた中での大会でした。僅差の試合・大まか

な試合と別れますが、決勝戦は若年層の多いチーム同士の試合となり、「積丹ロッタース」（後志支部）が四回裏に二点を先取、すかさず「GOLDEN FOX」（札幌支部）が五回表に四点を取り逆転、四対二のまま終盤に入り両チーム一点ずつ入れ五対三で「GOLDEN FOX」が逃げ切った試合でした。「GOLDEN FOX」チームの来年度の全国大会での健闘を期待いたします。大会を通して全般的に投手力にもよりますが、ワールドゲームを除き、試合時間が長くなる試合が多く、今後の課題（対策）として検討する必要があるのかなと感じた大会でした。

最後に本大会の運営に際し、道連役員・審判員・連盟役員に対しまして心より感謝とお礼を申し上げます。



第四十七回東日本軟式野球大会 (一・二部)

優勝
一部 株式会社SWATT (十勝支部)
二部 JA道東あさひ (中標津)

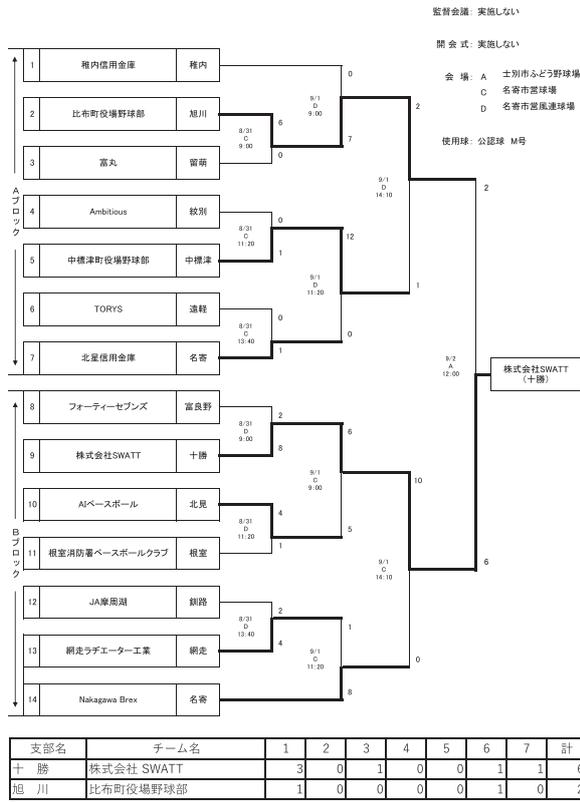
北・北海道大会

本大会は、八月三十一日から九月二日までの三日間の日程で、士別市ふどう野球場、名寄市営球場、名寄市営風連球場、剣淵平波球場の四会場において、一部・二部ともに各十四チームの計二十八チームが出場しました。

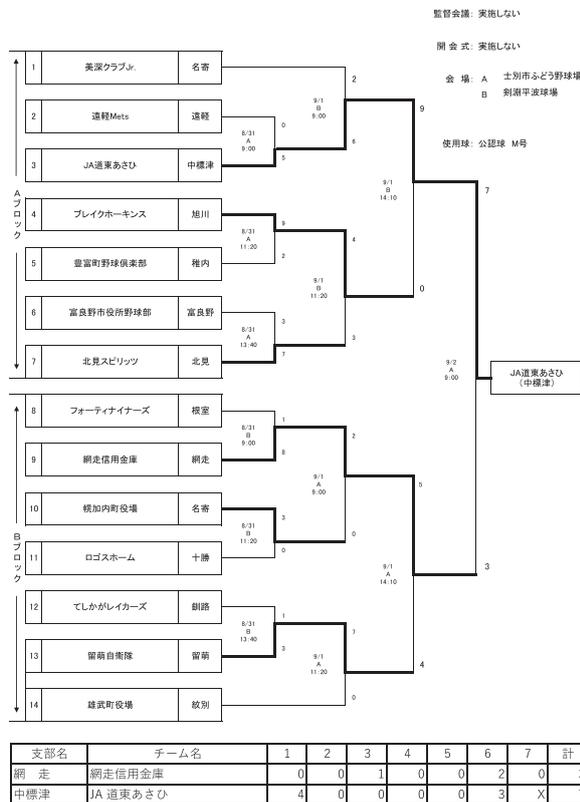
大会初日から雨に見舞われ、予定していた試合は全て翌日に順延となつたため、全試合を七回戦として実施することとし、二日目に四会場で五試合、最終日に二会場準決勝、決勝を行いました。

変則的な大会運営を余儀なくされましたが、一部は「株式会社

第47回東日本軟式野球大会(1部)北・北海道大会



第47回東日本軟式野球大会(2部)北・北海道大会



SWATT」(十勝支部)と「比布町役場野球部」(旭川支部)の決勝となり、初回到「株式会社SWATT」が三点を先制し、その後も得点を重ね、六対二で優勝しました。

二部は「網走信用金庫」(網走支部)と「JA道東あさひ」(中標津支部)の決勝となり、「JA道東あさひ」が初回到四点を先制しました。と得点を重ね、一時四対三と追いつめましたが、「JA道東あさひ」が六回裏に三点を追加し、そのまま逃

げ切り七対三で優勝しました。最後になりましたが、変則的な大会運営の中、道連役員をはじめ、旭川、稚内、留萌、富良野支部からの交流派遣審判員、地元審判員や会場運営担当者など多くの方々から臨機応変な対応をいただき、無事に大会を終えることができました。ご協力をいただきました皆さまに心より感謝を申し上げます。

(名寄支部 外山)

第二十四回北海道軟式野球選抜選手権大会 優勝 六花亭 (十勝支部)

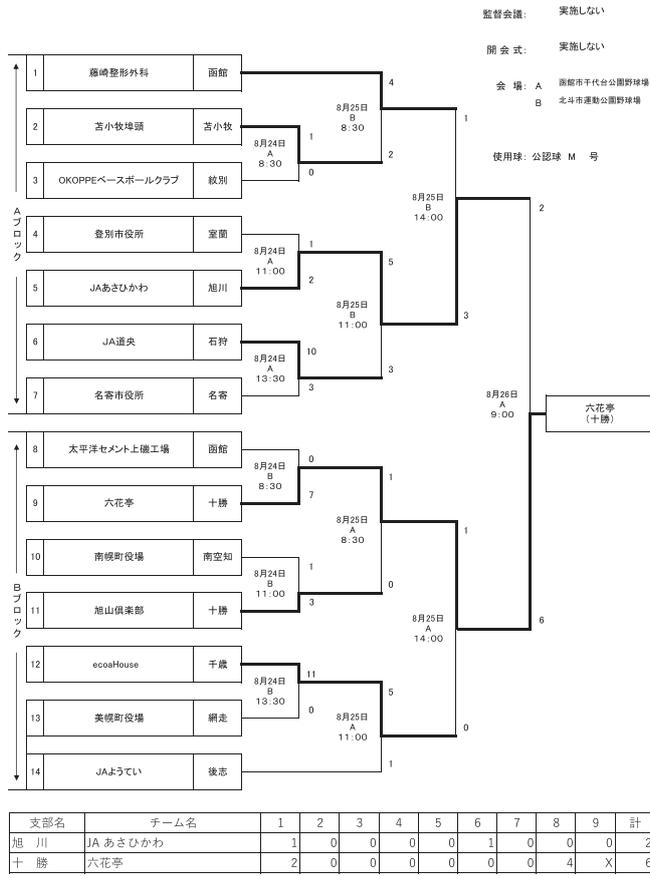
二〇二四年八月二十四日～二十六日に函館市千代台公園野球場をメインに開催し、全道各ブロックからの代表十四チームで熱戦が繰り広げられました。

昨年度まで長きに亘り旭川支部で開催されてきましたが、今年度からブロック持ち回り開催とすることで

の、記念すべき最初の大会となりました。

大会結果は「六花亭」(十勝支部)でしたが、昨年度優勝チーム「ecoaHouse」(千歳支部)に準決勝で競り勝ち、終始、安定した戦いぶりでした。

本チームは十一月に茨城県水戸



市で開催されました水戸市長旗第三十二回東日本軟式野球選手権大会でもベスト四の好成績でした。

改めて、本大会に出場した各ブロック代表十四チームの選手の皆様大変お疲れ様でした。本大会の開催にあたりご尽力いただいた道連役員並びに大会運営審判団、そして大会運営スタッフの皆様にご心より感謝とお礼を申し上げます。

(函館支部 関口)



第八回全日本シニア軟式野球 南・北海道大会 優勝 ゴールドスターズ (札幌支部)

本大会は九月十四日、江別市野幌運動公園軟式野球場で道央、道南の各ブロックから代表四チームが参加し、全国出場を目指して熱戦を展開しました。

決勝は初戦を接戦で勝ち上がったきた札幌支部同士の対戦となりました。試合は、初回に四点を先制した「ゴールドスターズ」が「札幌迷球会50overs」の追い上げをかわして「三連覇」を果たし、全国大会への切符を手中に収めました。

大会期間中、試合運営に関わった役員・審判団など多くの方々に協力いただきました。心より感謝とお礼を申し上げます。

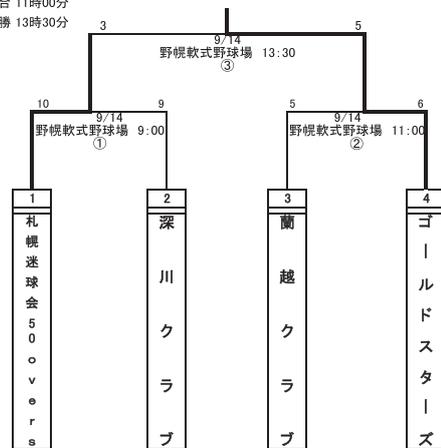
(札幌支部 藤山)



第8回 全日本シニア軟式野球南・北海道大会

大会日程・組合せ

会期 2024年9月14日(土) 予備日9月15日(日)
会場 野幌軟式野球場
第一試合 9時00分 ゴールドスターズ
第二試合 11時00分
決勝 13時30分



支部名	チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
札幌	札幌迷球会 50overs	0	0	2	1	0	0	0	3
札幌	ゴールドスターズ	4	0	1	0	0	0	X	5

優勝 十勝バンビーン (十勝支部)

第八回全日本シニア軟式野球 北・北海道大会

本大会は、十一支部の代表チームが参加し、令和六年九月十四日、十五日の二日間、オホーツク紋別球場、滝上町営球場を会場に全国大会出場を目指して熱戦が繰り広げられました。

大会は天候に左右される状況となり、最終日のオホーツク紋別球場では前日からの降雨のため、関係者総出の水抜きを行い、天候の回復もあって予定通りに全日程を消化する

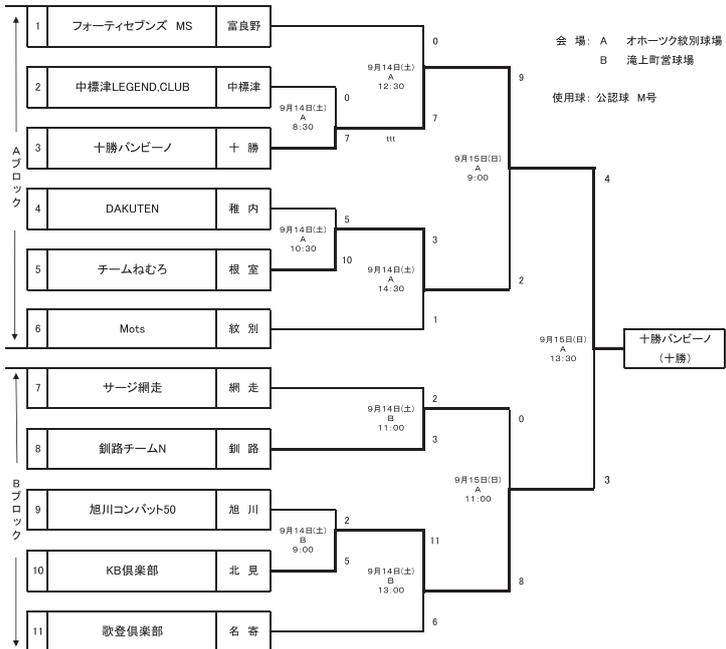
ことができました。決勝戦は、「十勝バンビーン」(十勝支部)と「KB倶楽部」(北見支部)の対戦、「KB倶楽部」が四回終了時までに二点をリードしていましたが、五回裏に「十勝バンビーン」が三点を奪い、そのまま逃げ切り鮮やかな逆転勝利で見事優勝を飾りました。

最後になりますが、網走、遠軽、北見支部からの交流派遣審判員を始

第8回全日本シニア軟式野球大会 北・北海道大会

監督会議：実施しない

開会式：実施しない



支部名	チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
北見	KB 倶楽部	0	2	1	0	0	0	0	3
十勝	十勝バンビーン	0	0	0	1	3	0	X	4

め、地元審判員や会場運営担当者など多くの方からご協力をいただきましたことに心より感謝とお礼を申し上げます。

(紋別支部 小林)

高円宮賜杯第44回全日本学童軟式野球大会
マクドナルド・トーナメント南・北海道大会

監督会議：2024年6月22日(土)午前8時00分

仁木町民センター

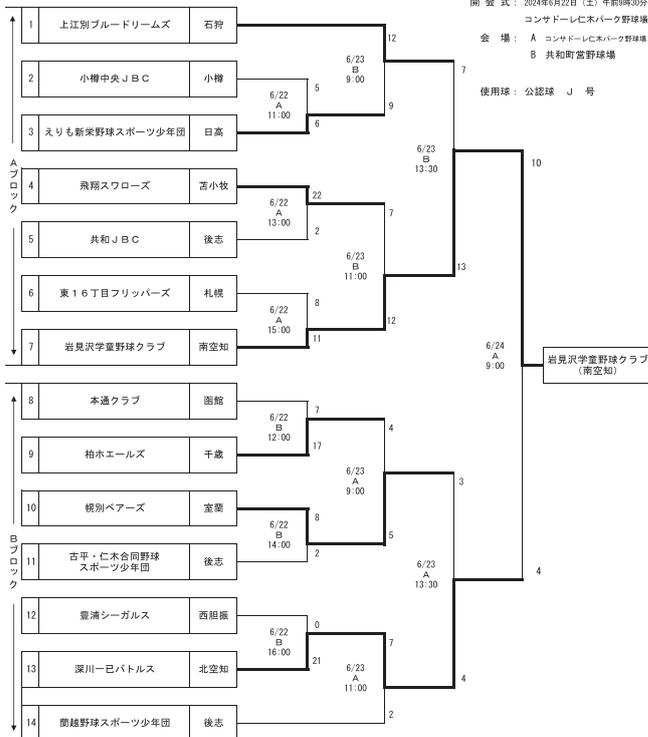
開会式：2024年6月22日(土)午前8時30分

コンサドレ仁木パーク野球場

会場：A コンサドレ仁木パーク野球場

B 共和町営野球場

使用球：公認球 J 号



支部名	チーム名	1	2	3	4	5	6	計
南空知	岩見沢学童野球クラブ	0	1	1	1	3	4	10
北空知	深川一巳バトルス	0	1	1	0	0	2	4

本大会は、後志支部が主管して開催される最後の年を迎えました。今年にはコンサドレ仁木パーク野球場をメイン会場に、支部予選を勝ち抜いた全十二チームと開催地推薦の二チームの合計十四チーム、

晴天の中で行われた開会式には、ドナルドも駆けつけてくれ、選手たちと一緒に入場行進が行われまし

高円宮賜杯第四十四回全日本学童軟式野球大会
マクドナルド・トーナメント南・北海道大会
優勝 岩見沢学童野球クラブ (南空知支部)

た。ドナルドから激励の言葉をいただくと、選手や観客は笑顔にあふれ会場は一気に盛り上がり、三日間の大会は始まりました。

最終日の決勝戦は小雨が降る中で行われ、奇しくも昨年と同じ顔合わせとなりました。二連覇を目指す「深川一巳バトルス」と初優勝を目指す「岩見沢学童野球クラブ」の試合は、途中、雨の影響で中断もありグラウンドコンディションが悪い中でも選手たちは元気よくプレーをしていました。序盤は先攻の「岩見沢学童野球クラブ」が点を取るものの、後攻の「深川一巳バトルス」が追いつく流れで試合が進み、終盤五回表に三點、六回表にダメ押ししの四點を加えた「岩見沢学童野球クラブ」が一〇対四で昨年のリベンジを果たし、見事初優勝を飾りました。

「野球はニアウトから」という言い伝えがありますが、今大会は正にその言葉を目の当たりにした大会でした。一球の怖さ、野球の難しさを改めて学ぶことができました。

(後志支部 福家)



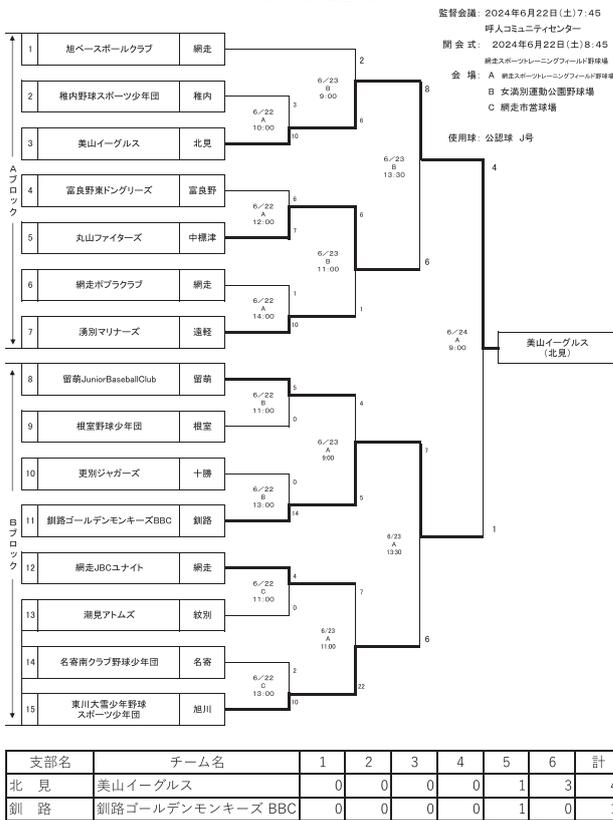
高円宮賜杯第四十四回全日本学童軟式野球大会 マクドナルド・トーナメント北・北海道大会 優勝 美山イーグルス(北見支部)

本大会は、昨年に引き続き網走スポーツトレーニングフィールド野球場をメイン会場に女満別運動公園野球場、網走市営球場の三会場で、六月二十二日から三日間、開催地推薦二チームを含む十五チームが参加しオホーツクブルーの青空の下熱戦が繰り広げられました。

六月二十二日七時四十五分から監督会議、その後、八時四十五からの開会式では、各チームは大きな声を掛けながら元気よく入場行進を行い、ドナルド・マクドナルドも一緒に行進し激励のことばをいただきました。

開会式会場の網走スポーツトレー

高円宮賜杯 第44回全日本学童軟式野球大会
マクドナルド・トーナメント 北海道大会

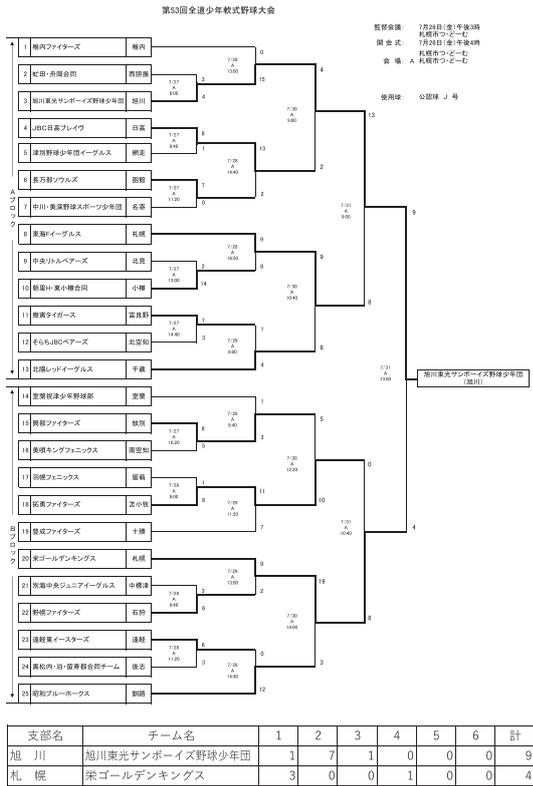


ニングフィールド野球場の駐車場は、早朝から父母・祖父母等多くの方が訪れ駐車場に入れない車で溢れていました。

決勝戦は、「美山イーグルス」(北見支部)が四対二で「釧路ゴールデンモンキーズBBC」(釧路支部)を下し見事優勝しました。

今大会は、天候にも恵まれた三年間無事終えることができ、派遣の道連役員、審判員そして大会運営に携わった多くの関係者の皆様にご心より感謝と御礼申し上げます。

(網走支部 堀田)



第五十三回全道少年軟式野球大会 優勝 旭川東光サンボーイズ野球少年団

本大会は、七月二十七日から七月三十一日まで全天候型球場・札幌コミュニティドーム(つどーむ)に、

全道の二十四支部を勝ち抜いた代表二十五チームが集い、北海道の頂点を目指して五日間に渡って熱戦を展開しました。

開会式では支部優勝旗を掲げた選手たちが次々と大きく腕を振って元氣良く入場行進しました。選手宣誓



では「東海イーグルス」(札幌支部)の石川諒成主将が力強く宣誓を行いました。

決勝は「旭川東光サンボーイズ野球少年団」(旭川支部)と「栄ゴールデンキングス」(札幌支部)が対戦。初回到三失点した「旭川東光サンボーイズ野球少年団」は二回に七得点で逆転、その後も相手の反撃をかわし優勝を果たしました。



旭川支部の優勝は、平成二年の第十九回大会以来、三十四年ぶり二回目の優勝となります。大会期間中、試合運営に関わった役員・審判団そして加盟チームからの補助員など多くの方々に協力いただいたことに、心より感謝とお礼を申し上げます。

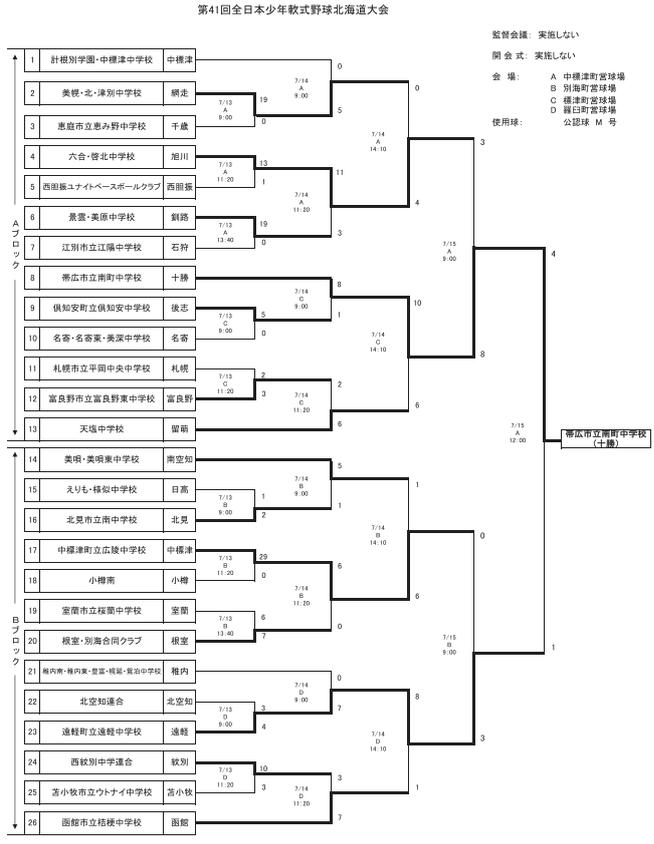
(札幌支部 藤山)

第四十一回全日本少年軟式野球大会 ENEOSTーナメント 北海道大会 優勝 帯広市立南町中学校 (十勝支部)

本大会は、七月十三日から十五日までの三日間、中標津町営球場・別海町営球場・標津町営球場・羅臼町営球場の四球場で開催され、全道各地から二十六チームが集まり全国大会を目指して熱戦が繰り広げられました。

大会期間中は、この時期の道東としては珍しく好天に恵まれ、無事に日程どおり試合を消化することができました。

初日の一回戦は、大差のついたゲームが目立ったものの、二日目の二回戦以降はコールドゲームも少な



また、各球場において、中学生の大会ということもあり、大勢の保護者等が詰めかけ、大会を盛り上げてくれました。

最後に、大会期間中、試合運営に関わった役員の皆様、審判員の皆様など多くの方々には協力をいただき心よりお礼を申し上げます。

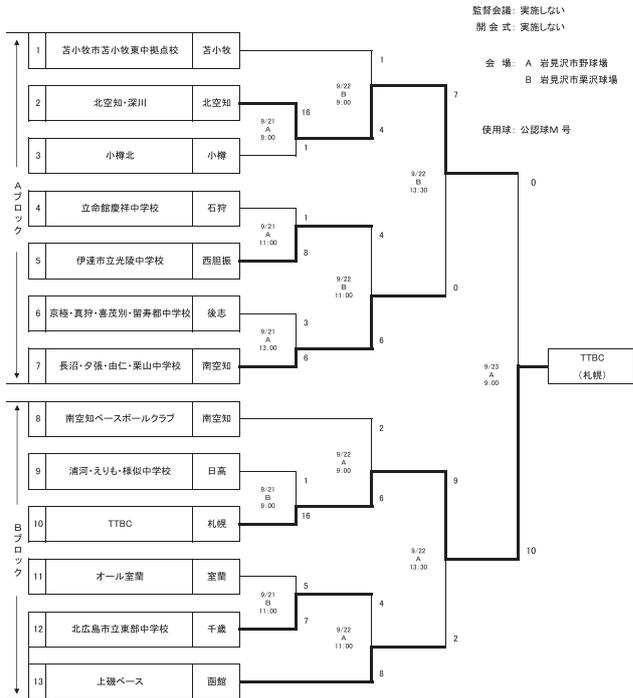
(中標津支部 橋本)

く好ゲームが多く見られました。中でも地元推薦で出場した「中標津町立広陵中学校」が予想を上回る健闘ぶりです。ベスト四まで勝ち上がり、最終日まで地元関係者を沸かせました。

決勝戦は、「帯広市立南町中学校」(十勝支部)と「遠軽町立遠軽中学校」(遠軽支部)が対戦。投手層が厚く継投で勝ち上がったきた両チーム。少ないチャンスをものにした「帯広市立南町中学校」が中盤・終盤に得点を挙げ、四対一で見事優勝しました。



文部科学大臣杯 第16回全日本少年春季軟式野球大会ENEOSTーナメント
北海道少年軟式野球選抜選手権大会名鉄観光トーナメント南・北海道大会



支部名	チーム名	1	2	3	4	5	計
北空知	北空知・深川	0	0	0	0	0	0
札幌	TTBC	2	8	0	0	X	10

文部科学大臣杯第十六回全日本少年春季軟式野球大会 ENEOSTーナメント北海道少年軟式野球選抜選手権大会 名鉄観光トーナメント南・北海道大会 優勝 TTBC (札幌支部)

去る九月二十一日(土)から二十三日(月)までの三日間、岩見沢市の二球場を会場に全十三チームによる本大会を開催いたしました。少年チームにとっては、三年生が抜けた一・二年生編成の新チームで、

また、選手のみなさんが全力プレーし、野球を楽しめるよう大会運営陣も全力で支えていただき、好天

にも恵まれた大会になりました。決勝戦は、一回戦から共に、打撃が好調で、投手を中心とした固い守りで駒を進めてきた「北空知・深川」(北空知支部)と「TTBC」(札幌支部)との対戦になり、序盤に得点を重ね、守りでは、渡部投手(主将)が好投した「TTBC」が十対〇で見事勝利し大会の幕を閉じました。

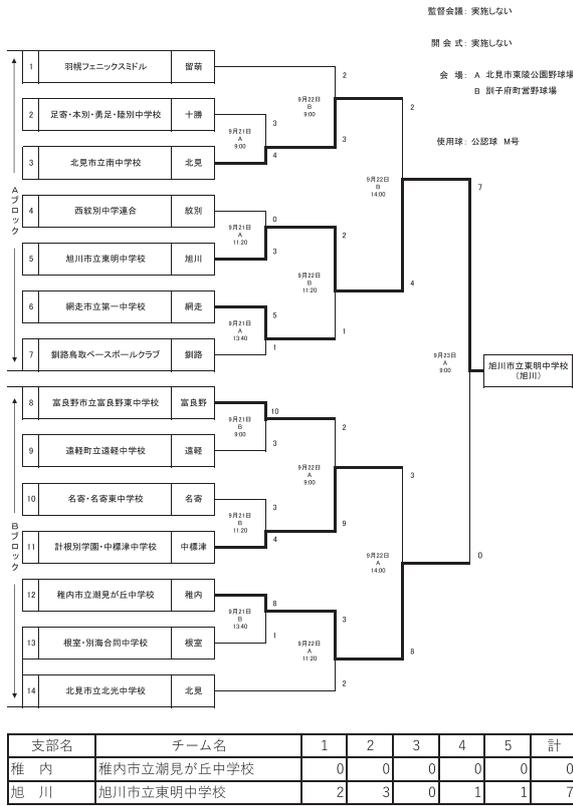
一方、少子化に伴う部活動の減少や教員の働き方改革を背景に、公立中学校の部活動を地域のスポーツ団体などが担う地域移行の動きなど、子どもたちが地域の中で野球を楽しむ環境の変化が起きている現状もあります。

最後になりますが、大会期間中は道軟連役員をはじめ、大会関係者、審判員、特に南空知支部各連盟役員、そしてグラウンド整備等をご協力いただきました岩見沢市内中学校野球部の指導者・部員の皆さまに心より感謝とお礼を申し上げます。

(南空知支部 西脇)



文部科学大臣杯 第16回全日本少年春季軟式野球大会ENEOSTーナメント
北海道少年軟式野球選抜選手権大会 名鉄観光トーナメント 北・北海道大会



九月二十一日(土)から二十三日(月)の三日間の日程で、北見東陵公園野球場・訓子府町堂野球場の二会場で、全国大会出場を目指して熱戦が繰り広げられました。

各支部を勝ち抜いた十四チームの代表が集い、試合は大差での勝利が四試合、また延長戦勝利が二試合と、応援者も手に汗を握る試合ありと、

日程通り無事終えることが出来ました。

優勝は、一回戦から準決勝まで小差で勝ち上がったきた「旭川市立東明中学校」(旭川支部)が、「稚内市立潮見が丘中学校」(稚内支部)に七対〇の大差で勝利し代表権を獲得しました。

(北見支部 森谷)

文部科学大臣杯第十六回全日本少年春季軟式野球大会
ENEOSTーナメント 北海道少年軟式野球選抜選手権大会
名鉄観光トーナメント 北・北海道大会
優勝 旭川市立東明中学校 (旭川支部)



NPBガールズトーナメント 二〇二四(帯広の森平和球場)と、第九回全日本中学女子軟式野球大会(帯広伏古別公園野球場)が、六月二十九日・三〇日の二日間で開催されました。

NPBガールズトーナメント 二〇二四には、全道八チームが参加し、決勝戦は「札幌ダイヤモンドガールズ」(札幌支部)と「とちかち



スマイルレインボー」(十勝支部)で行われ、五対二で「札幌ダイヤモンドガールズ」が優勝しました。

第九回全日本中学女子軟式野球大会には、全道五チームが参加し、決勝戦は「札幌ブルーシエジュニア」(札幌支部)と「Gratis Wish BC」(十勝支部)で行われ、三対〇で「札幌ブルーシエジュニア」が優勝しました。

NPBガールズトーナメント 二〇二四北海道予選会
優勝 札幌ダイヤモンドガールズ(札幌支部)
第九回全日本中学女子軟式野球大会(SPTーナメント) 北海道大会
優勝 札幌ブルーシエジュニア(札幌支部)

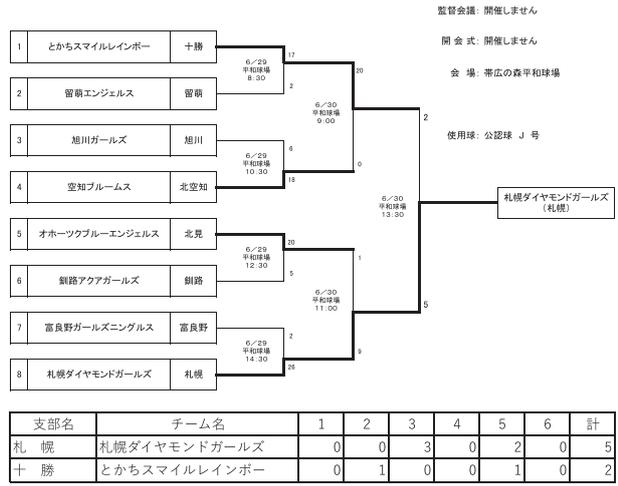
連日三〇度を超える暑さのなか、熱中症対策温度計を設置して、選手の健康管理を徹底しながら行われましたが、両大会とも選手たちは暑さに負けることなく、ハツラツとしたプレーを見せてくれました。

(十勝支部 小川)

第9回全日本中学生女子軟式野球大会(SPTーナメント) 北海道大会



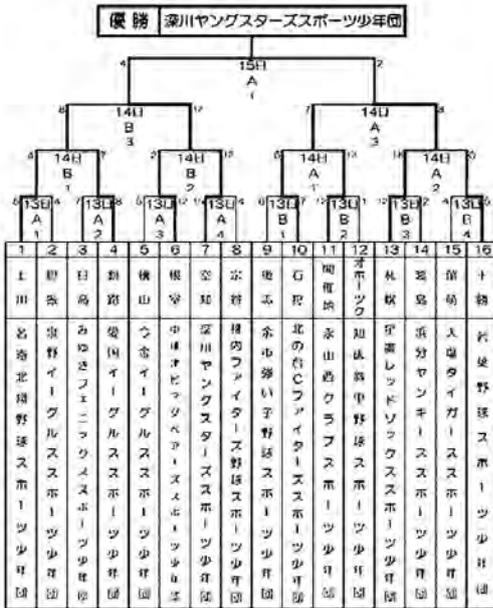
NPBガールズトーナメント 2024北海道予選会



第45回スタルヒン杯争奪全道スポーツ少年団軟式野球交流大会
第39回北海道スポーツ少年団軟式野球交流大会
(第46回全国スポーツ少年団軟式野球交流大会北海道予選会)

7月13日(土)		7月14日(日)		7月15日(月・祝)	
1第1試合	10:00~11:30	1第11試合	9:00~10:30		
2第2試合	11:30~13:20	2第2試合	11:00~12:30		
3第3試合	13:40~15:10	3第3試合	13:00~14:30	1決勝戦 9:30~11:00	
4第4試合	15:30~17:00				

【A】 浦田ドリームスタジアム 【B】 東光スポーツ公園松本野球場第二球場



本大会は、七月十三日～十五日の三日間、旭川市東光運動公園のドリームスタジアムと併設される第二球場で開催された。

三日間とも天候に恵まれ、全道十五管内の代表チームと開催地を含む十六チームが熱戦を繰り広げた。

決勝戦は、「深川ヤングスタース」(空知) VS 「星置レッドソックス」

初回、「深川ヤングスタース」は無死一塁から、右翼フェンス超えの本塁打が飛び出し二点先制。一方、「星置レッドソックス」も連打で二点を返し、打ち合いが予想されるゲームがスタート。

その後、粘りが信条でしぶとく勝ち上がった「深川ヤングスタース」

第四十五回スタルヒン杯争奪 全道スポーツ少年団軟式野球交流大会 第三十九回北海道スポーツ少年団 軟式野球交流大会

(第四十六回 全国スポーツ少年団軟式野球交流大会 北海道予選会)

ズ」が追加点を取り、二人の投手が「星置レッドソックス」に付け入るスキを与えず、突き放して優勝の榮譽をつかみ取り、八月に鳥取県で開催される「第四十六回全国スポーツ少年団軟式野球大会」にコマを進めた。

「深川ヤングスターズ」は走者をきちんと次塁に進める野球、「星置レッドソックス」は二人の女子選手プレーが光っていた。また、決勝戦は両チームノーエラーの引き締まったナイスゲームであったことを付け加えたい。

(旭川支部 日向)



支部トピックス

函館支部

少年(中学一・二年)の初めての冠大会を開催

函館支部では、学童の冠大会は今年で十回目の記念大会を開催して頂きました。道南うみ街信用金庫杯があります。

今年から少年(中学一・二年)を対象とした、第一回函館一楽ライオンズクラブ杯が新たに誕生いたしました。青少年の健全育成に寄与したいということで、参加十九チームや父兄の方々も大変喜んでおりました。

これからも地域に密着した大会を企画していきたいと思っております。

(函館支部 関口)

旭川支部

スポーツ検診の実施

今年の旭川軟式野球連盟の大会は天候に恵まれ試合は順調に進みました。

七月・八月は暑い日が多く、暑さ

指数三十一を超える日が幾度かありました。そこで試合中に給水タイムを設け、チームごとに暑さ対策を考え最大限の注意をはらいながら、計画通りにすべての大会を終了する事が出来ました。

大会終了後に加盟登録されている少年団の選手を対象に二〇一〇年より札幌のスポーツドクター(エコー検診)二名と旭川の理学療法士(フィジカル検査)六名の協力をいただきスポーツ検診を実施いたしました。

当連盟では連盟加盟登録選手が将来に向けて野球肘等の障害を発症せず楽しい野球を続けていただく事を目的に毎年実施しております。

今年十一月九日・一〇日の二日間にわたり実施しました。受診者数は三九六名でした。

二〇一〇年のスタート時とは登録選手の二〇%程度の受診でしたが、その後は指導者及び保護者を含め選手の健康管理の認識が変わり、今年度は三年生から六年生迄、選手の九十五%が受診しています。そのうち四名の異常を発見し保護者からは「早期に発見出来て良かった」との声が有る一方で練習を休む事が出来ない事情もあるとのことでした。

当連盟では野球シーズンが始まる前の二月に全チームの監督・指導者を対象に細部に渡り大会運営事項のマナー・ルールの徹底とスポーツ指導者の倫理(体罰の根絶)の説明会を行っております。

今後も正しい野球の普及発展を目指し適切な指導を通じ選手の健全な育成に寄与すべく、少年野球に携わるものが選手の事を第一に考えて運営に当たって行きます。

最後に野球は楽しい、楽しくなければ野球じゃない。

メディカルチェック



フィジカルチェック

令和六年度 北海道軟式野球連盟 アナウンス講習会

今年の高松宮賜杯二部全国大会が北海道で開催されることになり、ウグイス（十勝での通称）も強化すべく講習会を八月三日・四日・十七日・十八日の延べ四日間、明治北海道十勝オーバル及び帯広の森平和球場に行うことになりました。十勝支部担当として初めての事であり不安と不満（？）状態の中、助言をいただいた道連総務部の存在は本当に心強い味方となりました。ありがとうございました。

内容は座学と実技で、指導員ならぬインストラクターを迎えての開催となり、参加者は道東ブロックと旭川支部を含めたウグイスと学童の保護者も加わり、総勢二十二名の参加となりました。

初日の午前は「記録」についての座学を行い、全軟連の資料を元に申告敬遠をはじめスコアの記載等について学びました。全国大会の試合記録はとても細かい内容のもので参加者は非常に役に立ったことと思います。午後からは発声と発音の講義で

す。加賀インストラクターの「魔法」により、同じ言葉でも強弱や声質の違いでとても聞きやすくなることに驚き、マイクを持つと目つきが変わる豹変ぶりにも感心させられました。夜は楽しい（？）交流会です。お酒も手伝ってパワー全開、「魔法」から解き放されたウグイスは帯広の夜の街で思う存分羽を広げて楽しんでいたのでした。（笑）

二日目は十勝以外のウグイスによる実践講習会でした。東日本支部予選大会の試合を担当していただき、選手もひと際張り切っていたように見えました。十七日・十八日は十勝支部所属のウグイスが実践講習会を受講しました。審判講習会による試合形式でのアナウンスでしたが、選手交代時の伝達に戸惑う場面があり、審判技術指導員の方と協議の結果、交代伝達時のポジションを番号か位置名のどちらで伝えるか、事前にウグイスと打合せをする事の確認もありました。次年度の参考にしていただければ幸いです。

試合時間の短縮が叫ばれている昨今、試合に係わっているのは審判員とアナウンスです。双方が協力しアイコンタクトで進行できれば選手に

も観客にも安心したゲームを提供できるのではないのでしょうか。それは地域を限定されるものではなく、何処の地でも同じものでなくてはなりません。同じ情報を共有するためにもアナウンス講習会の今後の継続を期待します。（十勝支部 加藤）



各部近況報告

令和六年度

（公財）全日本軟式野球連盟

「成長期の障害予防・指導者講習会」を開催

（公財）全日本軟式野球連盟が主催、（公財）運動器の健康・日本協会が後援して、「令和六年度成長期のスポーツ障害予防・指導者講習会」を北見市の北見市民会館にて一〇月二十七日（日）、三十五名の参加を得て開催しました。

将来性のある子どもたちが、順調にその能力を開花させるか、あるいは怪我などによって競技を止めてしまふのかは指導方法に大きく左右されます。

子どもたちがスポーツ障害に悩まされることなく、将来にわたって継続的に野球を楽しめるよう、スポーツ障害について基礎的知識を理解するため、軟式野球少年部・学童部指導者および選手保護者、連盟関係者向けにこの講習会を毎年開催していきます。

講習会では、北海道大学整形外科学教室の池翔太先生から「成長期の

スポーツ外傷予防」について、理学療法士の相沢広大先生・篠永寛太先生から「コンディショニング・ストレッチ」について座学と実技を中心に行いました。

日ごろから野球に関わり指導されている講師の方々の最新情報をまじえた講演や実技は、受講者の興味・関心も高く質疑応答も積極的で、今後の指導に活かそうとする前向きな姿勢がうかがえる講習会となりました。

この講習会は、来年度以降も北海道のブロック持ち回りで予定いたしますので、北海道の軟式野球からは一人のスポーツ障害者も出さないと、強い意志をもって今後の試合、練習に取り組みくださいますようお願いいたします。

(育成強化部)



講習会参加者



令和六年 お悔やみ

当連盟役員・審判員がご逝去されました。心からご冥福をお祈り申し上げます。

一月七日

伝庄 好 (南空知支部)

一月九日

江川 倫法 (帯広支部)

六月十四日

八木 真樹 (日高支部)

八月九日

成田 昭平 (西胆振支部)

九月二十七日

櫻庭 浩 (名寄支部)

編集後記

二〇二四年も終わろうとしています。今年、北海道軟式野球連盟にとって大きな節目の年となりました。

一つは、任意法人から「一般社団法人」へ移行し、法人としての信用を得る一方、社会的責任が大きくなったと感じます。法人としての収益事業が可能となりましたが、今後どのように組織の運営基盤を強化できるのか、課題は沢山あります。

二つ目は、今年から事務効率化のため「野球ねっと」(野球競技者登録システム)を活用しての大会運営をスタートしました。チーム登録・選手登録を行い、各大会はシステムからの参加申込としましたが、どれだけチームや支部・道軟連が対応できるのか不安を抱えながら、マニュアルやシステム問い合わせを活用しての取り進めとなりました。全試合システム活用できたこと

に「ホッ」としています。ありがとうございました。

三つ目は、会報にもありますが、文部科学大臣からの表彰です。昭和二十一年創立以来、軟式野球を愛する方々が普及・発展にご尽力され、スポーツ文化の向上に寄与された賜物と感慨に慕っております。

野球の普及で思い至るのは、大リーグの大谷翔平選手が、日本国内約二万の全小学校にジュニア用クラブを寄付し、今年も大活躍したことです。野球への貢献は大きなものがあります。子供の数が減り続ける中で、軟式野球の継続・普及には課題が多くあります。会報の編集にあたり、お寄せいただいた原稿でかなりの力作もございましたが、紙面の都合で割愛させていただいた部分もありますので、ご理解をお願いいたします。

(事務局長 中森)

2025年度 北海道大会及び全国大会日程（案）

(2024. 12. 19現在)

大会名	主管支部	開催地	会期	締切	抽選	全国大会				
						代表チーム	大会名	会期	開催地	
天皇賜杯 第80回全日本軟式野球大会	南	函館 函館市 北斗市	7/5(土) ～7/7(月)	6/24 (火)	6/25 (水)	南優勝	2	天皇賜杯	9/5(金) ～9/10(水)	秋田県
	北	根室 根室市	7/26(土) ～7/28(月)	7/8 (火)	7/9 (水)	北優勝				
高松宮賜杯 第69回全日本軟式野球大会 (1部)	南	石狩 石狩市 江別市	7/12(土) ～7/14(月)	7/1 (火)	7/2 (水)	南優勝	2	高松宮賜杯 (1部)	9/20(土) ～9/22(月)	東京都
	北	名寄 士別市 剣淵町 名寄市	6/21(土) ～6/23(月)	6/10 (火)	6/11 (水)	北優勝				
高松宮賜杯 第69回全日本軟式野球大会 (2部)	南	石狩 石狩市 江別市	7/19(土) ～7/21(月)	7/8 (火)	7/9 (水)	南優勝	2	高松宮賜杯 (2部)	9/13(土) ～9/15(月)	群馬県
	北	名寄 士別市 剣淵町 名寄市	6/21(土) ～6/23(月)	6/10 (火)	6/11 (水)	北優勝				
第79回国民スポーツ大会 わたSHIGA輝く国スポ2025北海道 ブロック予選会	西胆振	伊達市 室蘭市 登別市	8/9(土) ～8/11(月)	7/29 (火)	7/30 (水)	優勝	1	第79回国スポ	10/3(金) ～10/7(火)	滋賀県
日本スポーツマスターズ 2025軟式野球競技	南	苫小牧 苫小牧市	7/19(土) ～7/21(月)	7/8 (火)	7/9 (水)	南優勝	2	日本スポーツマ スターズ	9/20(金) ～9/22(月)	愛媛県
	北	中標津 中標津町 標津町	7/19(土) ～7/21(月)	7/8 (火)	7/9 (水)	北準優勝				
第48回東日本軟式野球 北海道大会(1部)	南	千歳 恵庭市 千歳市 北広島市	9/13(土) ～9/15(月)	9/2 (火)	9/3 (水)	南優勝	2	※ 第47回(1部)	6/14(土) ～6/16(月)	福島県
	北	旭川 旭川市	8/30(土) ～9/1(月)	8/19 (火)	8/20 (水)	北優勝				
第48回東日本軟式野球 北海道大会(2部)	南	千歳 恵庭市 千歳市 北広島市	9/13(土) ～9/15(月)	9/2 (火)	9/3 (水)	南優勝	2	※ 第47回(2部)	5/17(土) ～5/19(月)	宮城県
	北	富良野 富良野市	9/6(土) ～9/8(月)	8/26 (火)	8/27 (水)	北優勝				
北海道知事杯 第25回北海道軟式野球選抜選手 権大会	網走	網走市 大空町	8/23(土) ～8/25(月)	8/12 (火)	8/13 (水)	優勝	1	水戸市長旗東 日本選手権	11/1(土) ～11/5(水)	茨城県
高円宮賜杯 第45回全日本学童軟式野球 大会 マクドナルド・トーナメント	南	日高 新ひだか町	6/28(土) ～6/30(月)	6/17 (火)	5/21 (水)	南優勝	2	高円宮賜杯	8/11(月) ～8/17(日)	新潟県
	北	稚内 稚内市	6/28(土) ～6/30(月)	6/17 (火)	5/21 (水)	北優勝				
第54回全道少年軟式野球大会	北	稚内 稚内市	6/28(土) ～6/30(月)	6/17 (火)	5/21 (水)	北準優勝	1	阿波おどりカッ プ	8/6(水) ～8/10(日)	徳島県
	南	高野山旗	7/25(金) ～7/29(月)			南準優勝	1	高野山旗	7/25(金) ～7/29(月)	和歌山県
第54回全道少年軟式野球大会	札幌	札幌市	8/1(金) ～8/6(水)	7/22 (火)	6/25 (水)					
第42回全日本少年軟式野球北海 道大会	十勝	帯広市 芽室町	7/19(土) ～7/21(月)	7/8 (火)	6/11 (水)	優勝	1	全日本少年	未定	神奈川県
	十勝	帯広市 芽室町	7/19(土) ～7/21(月)	7/8 (火)	6/11 (水)	準優勝	1	水戸市長旗東 日本少年	8/8(金) ～8/11(月)	茨城県
文部科学大臣杯 第17回全日本少年春季軟式野 球大会 名鉄観光トーナメント	南	北空知 滝川市 深川市	9/13(土) ～9/15(月)	9/2 (火)	8/6 (水)	優勝	2	※ 第16回大会	3/21(金) ～3/26(水)	岡山県
	北	遠軽 遠軽町 湧別町	9/13(土) ～9/15(月)	9/2 (火)	8/6 (水)	優勝				
NPBガールズトーナメント2025	十勝	帯広市	6/21(土) ～6/22(日)	6/10 (火)	6/11 (水)	優勝	1	NPBガールズ	未定	岡山県
第10回全日本中学女子軟式野球大会	十勝	帯広市	6/21(土) ～6/22(日)	6/10 (火)	6/11 (水)	優勝	1	全日本中学女 子	8/21(木) ～8/27(水)	京都府
第9回全日本シニア軟式野球 大会	南	北空知 砂川市 滝川市	9/6(土) ～9/7(日)	8/26 (火)	9/4 (水)	南優勝	2	※ 第8回大会	5/24(土) ～5/27(火)	埼玉県
	北	旭川 旭川市	9/13(土) ～9/14(日)	9/2 (火)	9/3 (水)	南準優勝				
<共催大会> 第46回スタルヒン杯(全道スポー ツ少年団交流大会)	北	旭川 旭川市	9/13(土) ～9/14(日)	9/2 (火)	9/3 (水)	北準優勝	2	東日本都市対 抗シニア	10/25(土) ～ 10/27(月)	埼玉県
	南	旭川 旭川市	9/13(土) ～9/14(日)	9/2 (火)	9/3 (水)	北準優勝				
<共催大会> 第46回スタルヒン杯(全道スポー ツ少年団交流大会)	旭川	旭川市	7/19(土) ～7/21(月)	未定	未定	優勝	1	全国スポーツ 少年団交流大 会	8月上旬 ～下旬	三重県

※印は、前年同北海道大会代表チームが出場する全国大会

※学童、少年大会は、宿泊手配の関係から1か月前に支部名で抽選を行う。